



堀 江 勝 巳 氏

華 中 水 電 會 社 水 道 部 長 に

横濱市の水道に多年の貢献をされ、不幸例の神奈川疑獄事件に無實の嫌疑を受けて其職を退かれてゐた我國水道界の權威たる元横濱市水道局長堀江勝巳氏は此程中支に新設された華中水電會社へ推薦され其常務取締役に就任水道部長を兼ねる事となつた。

氏は明治18年生れの54歳、明治44年京大土木工學科卒業後横濱市水道課に入り大正4年鹿兒島市水道工事長、同8年熊本市水道部長に轉じ、大正

12年2月横濱市水道局長に就任以來同市水道事業に又我國水道技術界の爲に幾多の貢献を惜しまれなかつたが、昭和10年忌はしき疑獄事件の嫌疑の爲に其職を退かれてゐた。然し正義は途に勝つて先に其冤が雪がれ、今更生の中支に重大な使命を擔つて赴任されたのである。適任之に過ぎるものなく、我等は我技術界の爲に否全東洋の爲に氏の如きを大陸開發の第一線に送り得た事を喜ぶと共に、氏自身の健闘を祈つて止まぬものである。